
今日 の 力

2025年4月7日 ～ 4月13日

翻訳 村越 克子
野口 恵美子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御 茶 の 水 キ リ ス ト の 教 会

4月7日(月)

私 た ち の 最 も 賢 い 選 択 と は

聖書朗読 箴言 10章

しかし、もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいのか、私にはわかりません。 ピリピ 1:22

高校時代、素晴らしく聡明な年配の先生がいました。その先生は、私の思考を深めるために驚くべきテクニックを用いました。先生がまず質問をして、私との会話の中で私の考えを引き出すのです。どれを選択したらいいのか、選択肢の価値を私に比較検討させようとしているのだと理解できましたが、どれを選択するかがすべて私次第であることに少しドキドキしました。

聖書の中にも人生の選択について書かれています。ソロモンは歴史上、最高の賢者であると考えられています。箴言では、神様は私たちに自由意志を与えて下さいましたが、私たち自身でははどんなに努力しても、すべてを正しく選択することは不可能に近いことが描かれています。つまり、私たちは神様に正しい選択ができるように助けて頂くことが必要です。しかし、もし私たちが正しい選択ができなかったとしても、神様は赦して下さいます。

私は、神様にある良い選択をすることを何年も掛かってやっと学ぶことが出来ました。私たちの選択は、自分自身にも、また私の周りの方々にも影響を与えるのでとても重要です。箴言に書かれているソロモンの教えは、とても実用的で、選択によって私たちの人生は決まるというものです。つまり、私たちがまずしなければならないことは、神様を第一にすることです。もし、私たちが神様の導きを求めて祈るならば、神様は必ず知恵を与えて下さるとお約束して下さいます。

讃美歌 75 ものみなこぞりて

祈 り 親愛なる主よ。私たちに選択の機会を与えてくださり、ありがとうございます。私たちが行なうあらゆる選択において、あなたとあなたのみこころを求められるように助けてください。イエス様のお名前により。アーメン。

ニューメキシコ州 グランツ / ランディ・ロバーツ

4月8日（火）

重 過 ぎ る

聖書朗読 伝道者の書 4：9～12

互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。

ガラテヤ 6:2

「助けなんかいないよ」「ほっといて、一人で大丈夫だから」似たような言葉を聞いたことがありますよね。一人では背負いきれないほど重い重荷と闘っている人がよく言う言葉です。

今の世の中、多くの人が孤立しがちです。たとえばレストランで、お母さん、お父さん、3人の子どもたちが、それぞれ携帯電話をいじっていて、自分の世界に浸っているということがあります。ヘッドフォン、イヤホン、タブレット、ビデオゲーム、仮想現実などは、すべて自分一人で扱うツールであり、繋がりがあるといふ幻想を生み出してはいますが、実際には孤立を深めるものです。

しかし、キリストのみからだ、教会は違います。教会は、私たちが互いに繋がるのに必要不可欠な、私たちが身を避ける岩なのです。私たちは、お互いを補い合い、お互いの人生の中に真に存在する、親密で個人的な関係を必要としています。

『互いの重荷を負い合』いましょう。『ふたりはひとりよりもまさってい』ます。『三つ撚りの糸は簡単には切れ』ません。キリストのみからだなる教会の基は一体感の強さにあります。今日、誰かとつながりましょう。そして、その人の苦しみや闘いを共有できるかどうか自問してみましょう。

讃美歌 393 神のひかりは

祈 り 天のお父様。キリストのみからだにある知恵と強さを私たちが理解できるように助けてください。私たちが神様を理解し、お互いを理解することができますように。そして、自分が助けを求めることを恐れないようにしてください。イエス様のお名前において。アーメン。



オレゴン州 フィロマス / ウイリアム T・マコーガン

4月9日（水）

記 憶

聖書朗読 伝道者の書 12:1～8

あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。 わざわいの日が来ないうちに、また、「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。 伝 12:1

聖書では、私たちに起こった出来事を覚えていることの大切さを教えていますが、私たちは自分に起こった出来事を意識的に記憶しようとすることはほとんどありません。私たちの記憶には、良い事も悪い事が記されており、それは私の人生の履歴書のようなものです。私たちが学んだことは、これからの私たちの人生においての道しるべであり、将来を指し示すコンパスのようなものであり、私たちの感情を測る体温計のようなものです。

私たちに起こったことの中で、重要なことや特に注意を引くことを私たちは特に良く覚えていきます。そして、それらを振り返ってみると、私たちクリスチャンは、神様がいかに私たちの人生の全てにおいて働いて下さっていることが分かります。特に私たち親は、子供たちの困難な経験をも肯定的視点で見ることを子供たちに指し示すこともできます。私の母は、私が難しい状況に陥ったとき、それは私が思っている以上に大変なことではないことを説明して助けくれました。

私たちには楽しい事ばかりの記憶だけではありません。ある時は、変化することを決心する時です。大変なことは、私たちに変化を与え、私たちの視点や行動をキリストに似る者と変えて下さいます。そして、私たちが神様の教えを記憶に留めることにより、周りの方々を教え導くことが出来、周りの方々を神様に仕える者になるように助けることができるのです。

讃美歌 II 142 若きわれらは

祈 り 親愛なる主。私たちに『覚えよ』というみことばと、人生を祝福するみことばを与えてくださり感謝いたします。イエス様のお名前において。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス / スーザン・ギボニー

4月10日（木）

聖なる煙

聖書朗読 イザヤ書 6:1～8

そのとき、雲は会見の天幕をおおい、主の栄光が幕屋に満ちた。 出エジプト記 40:34

イザヤは神殿を満たす煙、“聖なる煙”として、神様のご栄光を体験しました。神様のご栄光はしばしば神の宮を煙で満たし、それは雲として表現されることもありました。（出エジプト記 40:35、列王記Ⅰ 8:10、ヨハネの黙示録 15:8）神様の聖なる煙は神の宮を特別なものにしました。聖なる煙は神様のご臨在を知らせ、旧約聖書の時代は、神様のご臨在は神聖に建てられた天幕である幕屋の中に宿っていました。

今日、新約聖書のもとでは、神さまのご臨在は、個人的にも集団としても、神の民の心の中にありますが、どちらも煙を禁止するものではありません。神の宮では、煙が消えると神様のご臨在していないという警告が鳴ります。ところで、私たちの教会には“聖なる煙”つまり、神様のご臨在しているのでしょうか。

神の宮が神様のご臨在に畏敬の念を抱く人々や、自分の罪に心を痛める人々、あるいはみわざを行なうために世に遣わされることを熱望する人々で満たされているなら、それらが聖なる煙が存在していることの良いしるしであると、私たちはイザヤ書から学びます。今日、私たちが礼拝する場所は、ソロモンの神殿のように見事に建てられたものはほとんどありませんが、そこに宿る聖なる煙は以前と同じです。

讃美歌 66 聖なる 聖なる

祈り 親愛なる主。あなたの宮に集まるときだけでなく、あなたの宮として日々生活するときも、私たちの礼拝が常にあなたのご存在の煙に包まれますように。イエス様のお名前において。アーメン。

テキサス州 ラボック / デビッド・ラングフォード



4月11日（金）

みことばの力

聖書朗読 イザヤ書 55:6～11

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。 ヘブル 4:12

今日の箇所のヘブル人への手紙4章の動詞『生きていて』は現在形が使われています。そして、そのみことばは今日でも有効です。神様のみことばは生きています。みことばは私たちの心に留まっていて、力があります。みことばは私たちの心を貫通し、私たちに変化をもたらします。私たちの考えと心の中の本当の思いをはっきりさせます。私たちの動機と行動を見極める役目もします。みことばは、私たちを教え、導き、私たちに宣告し、私たちの生活に変化をもたらします。

ヘブル人への手紙のある注解書において誰かがこう言っています。「みことばは私たち自身を明らかにします。そして神様はみことばによってご自身を私たちに明らかにされます。私たちの罪を明らかにすると同時に、癒しを備えて下さいます。」

聖書は今日も私たちに重要な役割を果たしています。その聖書を読むか読まないか、勉強するかしないか、それを生活に活かすか活かさないかは、私たち次第なのです。

『そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。』（イザヤ 55:11）

讃美歌 Ⅱ105 主よ みことばもて

祈り お父様、聖書を下さりありがとうございます。霊に導かれた方たちがあなたのみことばを書いて下さり感謝します。私たちが自分たちの心にみことばを書き記し、それらを魂に貫通させ、人生を変えることができますように。そして、それを見た方々が私たちの中に生きているイエス様を見ることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ヘンダーソン / ローズマリー・マックナイト

4月12日（土）

神様のお約束

聖書朗読 エレミヤ書 5：18～31

しかし、その日にも、——主の御告げ——わたしはあなたがたを、ことごとくは滅ぼさない。」
エレミヤ 5：18

エレミヤ書には私たち人間に対する神様のすばらしい約束が随所に描かれています。もし私たちが神様を呼ぶならば、神様は必ず応えて下さるお方であると記されています。また、神様の私たちへの愛は永遠の愛であるとも記されています。神様は、『ダビデに一つの正しい若枝を起こす。彼は王となって治め』ると、約束されました。（訳注：エレミヤ 23：5）神様はこの約束を私たちにイエス様を遣わして下さったことで成就されました。イエス様は、私たちの神であり、私たちがイエス様の民であることを約束して下さいました。もしこれらの約束に対してあなたが満足できなかったとしたら、神様は私たちにもっと恵み豊かな約束を成就してくださるとおっしゃっています。

私たちが時々見過ごしてしまう神様のお約束の一つは、神様は決して私たちが滅ぼしたり、見捨てたり、忘れたりなさらないということです。私たちは困難に出会うかもしれませんが。試練に立ち向かわなければならないかもしれません。試みに遭うかもしれません。自制心を試される時があるかもしれません。そういう時、私たちは不安になるかもしれません。しかし、誠実なお方である神様は、私たちにあらゆる方法でそこから脱出する道を備えて下さいます。覚えていますか。神様をご自分が創造された世界をお忘れになったり、破壊されたりしないというしるしとして、空に虹を掛けて下さったことを。それが神様のお約束です。

讃美歌 286 神はわがちから

祈り 敬愛する主よ、あなたの民に恵み溢れる約束をお与え下さいましたことを感謝します。そして、主は一度もそのお約束を破られないことを深く感謝申し上げます。私たちはいつもあなたにある希望と未来があることを喜んでいます。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウェスト・ヒルズ / グレッグ・ダウム

4月13日（日）

イエス・キリストの忠実な僕たち

聖書朗読 エレミヤ書 23：9～24

これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたはキリスト・イエスのりっぱな奉仕者になります。・・・年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。かえって、ことばにも、態度にも、愛にも、信仰にも、純潔にも信者の模範になりなさい。
テモテ I 4：6、12

嘆きの預言者であるエレミヤは大変な重荷を背負っていました。エルサレムを見渡すと、預言者と祭司たちがやりたい放題だったからです。国の統治は悲惨なものでした。罪深い宗教指導者たちは国そのものを汚していました。

私たちはエレミヤに同情します。そして、現代においても、教会の不祥事は私たちを震撼させます。時として私たちは、霊的なリーダーを一括りにして、「リーダーたちはどうしようもなくなってしまった」と言うかもしれません。しかし、それは今も昔も真実ではないのです。エレミヤの時代には、ハバククとオバデヤはイスラエルで信仰的なメッセージを語っていました。エゼキエルはバビロンで主にある働きをしていました。多くの罪深い指導者たちの中にも、神にお仕えし、人々に真実を伝え、みことばに生きていた者もいました。

ソーシャル・メディアで報じられたスキャンダル、あるいは我々が知っているスキャンダルもこの世には存在します。しかし、私たちは今日、忠実にみことばを語り、真実を教え、静かにみことばに生きる僕たちがいることも知っています。そのことを神様に感謝しましょう。彼らは自分のしていることを声高に宣伝したりしませんが、彼らのしていることに対して、私たちは主に感謝の祈りをささげ、会話の中でも敬意を払うべきです。詩篇 16：3の感謝は、まさしく私たちの彼らに対する祈りを思い起こさせます。『地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。』

讃美歌 518 いのちのきずなの

祈り 主よ、みことばにより私たちに真理を教えてくれるあなたの僕たちに、キリストの模範を示してくれる兄弟姉妹に感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ミリガン / テッド N・トーマス